

# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第65号 平成20年12月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## アースレンジャーこども会議&学生環境会議

- ・ 幼小中の環境体験学習発表 アースレンジャーこども会議
- ・ 大人はいらない！たよらない！学生環境会議

## ○幼小中の環境体験学習発表 アースレンジャーこども会議

10月25日（土）岐阜市まるごと環境フェアにて、幼稚園児、小・中学生の日頃の環境体験学習の成果を発表する『アースレンジャー子ども会議』と、高校・大学生による環境トーク『学生環境会議』が開催されました。

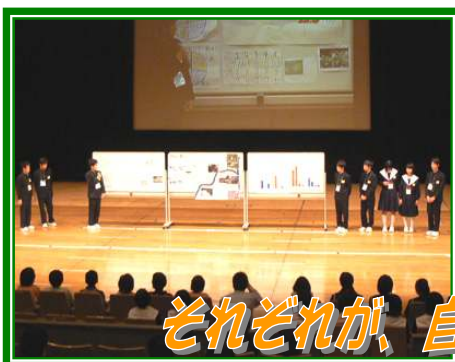
年間を通して達目洞に通う岐阜北幼稚園のみなさんは、達目洞の米づくりから見えてくる季節の変化や金華山の様子を自分達の言葉で発表してくれました。

小学生の発表では、食育にも関わる野菜作りの重要性が訴えかけられました。自分たちが食べるものを自分たちで作る、そんなごく自然なことになかなか取り組めていない現状を訴えかけてくれました。

中学生からは、河川の水質調査の結果から見る生活スタイルの変化や、森林整備に携わったことから見えてきた、人と森林との関わりについて発表がありました。それぞれの学校、年代の子どもたちがそれぞれの視点から見えてきたこと、考えたことを発表してくれました。



多くの子どもたちが参加してくれました！



それぞれが、自分たちで感じたことを発表しました！



参加児童・生徒がグループに分かれてがやがや会議を行いました。

「こども環境宣言」を受けとった教育長からは、子どもたちへの熱いエールが送られました。

その後、参加児童・生徒によるがやがや会議が催されました。会議の中で子どもたちから出された意見等は「子ども環境宣言 2008」としてとりまとめられ、安藤教育長に手渡されました。

### ○大人はいらない！たよらない！学生環境会議

高校生・大学生による学生環境会議では、運営するスタッフの大学生が色々思案する中で、自分たちが生きていくためには何が必要なのかを考える「島への移住」を検討するワークショップを行いました。

各グループに分かれて検討する中で、限られた資源と技術を如何に活かして生活するか知恵を絞り出し白熱した議論がなされていました。各グループによって、移住する島の特長を活かして様々な生活の術が発表されました。

その発表の中でわかったこととして、「**いかに自分達が恵まれた環境で生活しているか、いかに資源に頼った生活をしているか**」ということです。水一つとっても、日本では自由に使える。その有難さを、ワークショップを通して再認識することができました。



グループに分かれ、移住した島で生活する術を検討中。



学生環境会議に参加した高校生、大学生、NPO 関係者による記念撮影

### ○おわりに

毎年恒例になっているこのアースレンジャー

子ども会議、学生環境会議での発表内容を聞いていると、**子どもたちはそれぞれ学び、感じたことから自分のまわりの自然や将来の環境について考えたことを私達大人に伝えてくれます。**そのたびに、私達大人の責任の重さとこれからの取り組みの重要性を改めて感じさせられます。

### 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL : 058-265-4141 (内線：6452) FAX : 058-267-1374

E-mail : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」:

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ : <http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>